



平成27年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月8日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東
 コード番号 3180 URL <http://www.beautygarage.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)野村 秀輝
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 (氏名)伊藤 雅之 (TEL)03(5752)3897
 経営管理グループ統括責任者
 四半期報告書提出予定日 平成26年9月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年4月期第1四半期の連結業績(平成26年5月1日～平成26年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第1四半期	1,670	9.2	51	106.1	51	188.1	30	90.3
26年4月期第1四半期	1,529	—	24	—	17	—	16	—

(注) 包括利益 27年4月期第1四半期 30百万円(89.2%) 26年4月期第1四半期 16百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年4月期第1四半期	26	19	26	06
26年4月期第1四半期	13	76	13	66

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第1四半期	2,325	—	1,275	—	54.8	—
26年4月期	2,293	—	1,266	—	55.2	—

(参考) 自己資本 27年4月期第1四半期 1,275百万円 26年4月期 1,265百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
26年4月期	—	—	—	18.00	18.00
27年4月期	—	—	—	—	—
27年4月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 平成27年4月期の期末配当につきましては実施する予定ですが、金額は未定であります。

3. 平成27年4月期の連結業績予想(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	3,646	18.4	150	166.2	152	226.2	91	227.8	77	72
通期	7,390	14.4	349	15.2	352	19.3	218	26.8	185	00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)― 、除外 一社(社名)―

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年4月期1Q	1,182,000株	26年4月期	1,182,000株
27年4月期1Q	47株	26年4月期	―株
27年4月期1Q	1,181,981株	26年4月期1Q	1,182,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、政府の景気対策や日本銀行の金融施策を背景に企業収益の改善や雇用情勢の持ち直しなど、全体として緩やかな回復基調が続いておりますが、消費税増税の影響や海外景気の下振れリスクもあり、先行き不透明な状況となっております。

また、当社グループが事業を展開する美容サロン業界におきましても、依然として店舗間の競争が激しく、さらに消費税増税後の反動減からの回復が遅れるなど厳しい状況が続いております。

そのような状況下、当社グループでは引き続き新規顧客の獲得や既存ユーザの利用率向上に向けて各種プロモーション活動の実施、商品ラインナップ強化などの物販事業強化の各施策に加えて、その他周辺ソリューション事業においてはサービスの強化など各種取組を実施いたしました。

以上の結果、平成26年7月末時点のアクティブユーザ（過去1年間に1回以上購入したユーザ）は68,970口座（前年同期比12,701口座増）に伸長し、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,670,008千円（前年同期比9.2%増）となりました。

一方、前連結会計年度におきましては円安の影響や中古商品売上高の減少等により売上総利益率は低下いたしました。オリジナルブランド商品の投入や価格改定等の各種取り組みに努めた結果、売上総利益率も改善傾向にあることから、当第1四半期連結累計期間における売上総利益は585,981千円（前年同期比13.0%増）となりました。

また、イベントへの出展やカタログ発刊を始めとして積極的なプロモーション施策を実施しつつも販売費及び一般管理費を抑制した結果、営業利益51,377千円（前年同期比106.1%増）、経常利益51,495千円（前年同期比188.1%増）、四半期純利益30,960千円（前年同期比90.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①物販事業

物販事業においては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、主要都市10ヶ所のショールーム、カタログ通販誌「BG STYLE」を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を全国のビューティサロンに提供しております。

消費税増税の影響もあったものの、物販事業全体の売上高は堅調に伸長いたしました。中でも「BEAUTY GARAGE Online Shop」経由の売上高につきましては、前年同期比24.8%増と伸長し続けており、またその売上高が全体の半分以上を占めていることから当社の最も重要な販売経路と位置付け、継続的な利便性向上に努めております。

商品別でみるとストック型収益商材である化粧品や消耗品の売上高は前年同期比42.9%増と大幅に伸長しており、当社の基本戦略である「フロー&ストック型収益構造への転換」は堅調に進捗しております。

平成26年5月には美容業界最大のイベントである「BEAUTY WORLD JAPAN 2014」（開催地：東京）への出展やカタログ通販誌「BG STYLE」の最新刊を発行するなど、積極的な販売促進活動を実施いたしました。

この結果、当事業の売上高は1,370,129千円（前年同期比16.6%増）、セグメント利益は93,627千円（前年同期比27.5%増）となりました。

②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより店舗設計・工事施工監理を提供しております。平成26年5月には東京・金沢・福岡・大阪に続き5拠点目となる名古屋支店を開設し、サービス提供エリアを拡大いたしました。

デザイナーの増員や積極的な営業活動を行い新規顧客の開拓に努めましたが、消費税増税前の駆け込み需要の反動による影響により新規開店案件が一時的に大きく減少し、当事業の売上高は231,350千円（前年同期比21.6%減）、セグメント利益は299千円（前年同期比97.1%減）となりました。

③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして居抜き物件仲介サービスや集客支援サービス、e-ラーニングサービス等の各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市10ヶ所のショールームを通して提供しております。

セミナー・講習会のサービスメニューの強化や不動産仲介サービスの「サロン不動産net」サイトをリニューアルオープンするなど、継続的な利便性向上につとめております。

この結果、当事業の売上高は68,527千円(前年同期比14.7%増)、セグメント利益は6,234千円(前年同四半期はセグメント損失7,409千円)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.7%増加し、2,065,715千円となりました。これは、主に売掛金の減少41,931千円があったものの、商品の増加31,726千円、仕掛品の増加20,373千円及び現金及び預金の増加5,667千円があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7.3%増加し、259,854千円となりました。これは、主に投資その他の資産の増加12,743千円及び有形固定資産の増加6,127千円によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.6%減少し、876,130千円となりました。これは、主に1年内返済予定の長期借入金の増加41,244千円及び賞与引当金の増加29,443千円があったものの、買掛金の減少71,461千円及び未払法人税等の減少21,628千円があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて27.2%増加し、173,516千円となりました。これは、主に長期借入金の増加33,710千円によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて0.8%増加し、1,275,922千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少21,276千円があったものの、当四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加30,960千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月9日に公表いたしました連結予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	551,261	556,929
売掛金	436,759	394,828
商品	805,551	837,277
仕掛品	8,535	28,908
その他	255,077	253,484
貸倒引当金	△6,364	△5,712
流動資産合計	2,050,820	2,065,715
固定資産		
有形固定資産	69,487	75,615
無形固定資産		
のれん	529	-
ソフトウェア	40,079	39,335
その他	116	116
無形固定資産合計	40,725	39,451
投資その他の資産	132,044	144,788
固定資産合計	242,258	259,854
資産合計	2,293,078	2,325,569
負債の部		
流動負債		
買掛金	411,500	340,038
1年内返済予定の長期借入金	60,208	101,452
未払法人税等	52,465	30,836
賞与引当金	23,880	53,324
製品保証引当金	9,792	13,792
受注損失引当金	350	912
その他	332,223	335,773
流動負債合計	890,420	876,130
固定負債		
長期借入金	69,352	103,062
ポイント引当金	27,705	29,108
資産除去債務	23,945	23,992
その他	15,363	17,353
固定負債合計	136,366	173,516
負債合計	1,026,786	1,049,647
純資産の部		
株主資本		
資本金	262,320	262,320
資本剰余金	213,587	213,587
利益剰余金	789,621	799,306
自己株式	-	△106
株主資本合計	1,265,528	1,275,106
新株予約権	-	236
少数株主持分	763	580
純資産合計	1,266,291	1,275,922
負債純資産合計	2,293,078	2,325,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年7月31日)
売上高	1,529,899	1,670,008
売上原価	1,011,277	1,084,026
売上総利益	518,622	585,981
販売費及び一般管理費	493,689	534,604
営業利益	24,932	51,377
営業外収益		
受取利息及び配当金	8	1
償却債権取立益	-	1,000
その他	506	911
営業外収益合計	515	1,913
営業外費用		
支払利息	347	353
為替差損	6,846	1,033
その他	380	409
営業外費用合計	7,573	1,795
経常利益	17,874	51,495
特別損失		
本社移転費用	4,300	-
特別損失合計	4,300	-
税金等調整前四半期純利益	13,573	51,495
法人税、住民税及び事業税	7,451	31,094
法人税等調整額	△10,143	△10,377
法人税等合計	△2,691	20,717
少数株主損益調整前四半期純利益	16,265	30,777
少数株主損失(△)	-	△182
四半期純利益	16,265	30,960

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	16,265	30,777
四半期包括利益	16,265	30,777
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,265	30,960
少数株主に係る四半期包括利益	-	△182

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成25年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,175,122	295,019	59,757	1,529,899	—	1,529,899
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,144	28,688	680	36,514	△36,514	—
計	1,182,267	323,708	60,438	1,566,413	△36,514	1,529,899
セグメント利益又は損失 (△)	73,458	10,395	△7,409	76,444	△51,511	24,932

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△51,511千円には、セグメント間取引消去4,230千円、未実現利益の調整額△457千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△55,285千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年5月1日至平成26年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,370,129	231,350	68,527	1,670,008	—	1,670,008
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,601	17,191	207	21,000	△21,000	—
計	1,373,730	248,541	68,735	1,691,008	△21,000	1,670,008
セグメント利益	93,627	299	6,234	100,162	△48,784	51,377

(注) 1. セグメント利益の調整額△48,784千円には、セグメント間取引消去3,590千円、未実現利益の調整額521千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△52,897千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。